

第9講 文字テキスト（2）解題

テキスト批判

必ずしも現存の文字テキストは完全ではない

1. テキストの欠損

印刷された刊本と手写本は異なる

多くは文献学者や碑文研究者による校訂を受ける

文字なのか傷なのかの判別がつかないことも

2. テキストの記述レベル

実体験に基づくのか伝聞に基づくのか

実体験：体験者が経験した局所的な知見

体験者の主観が記述に影響

伝聞：間接的知見の問題

真実の証明の欠如

噂や脚色された作りごとの方が興味を引く

書き手の資質に左右される

限られた知識

洞察力の欠如

オリジナルかセカンダリーか

テキストの来歴の確認の要

オリジナルとの距離＝信憑性の多寡

オリジナルか写本を通じてか

写本を繰り返すことによる誤写の蓄積

注が本文に入ってしまう危険性

他のテキストの混入

3. 語句の意味内容の変化

同一語句であっても意味内容は時代や社会によって異なる